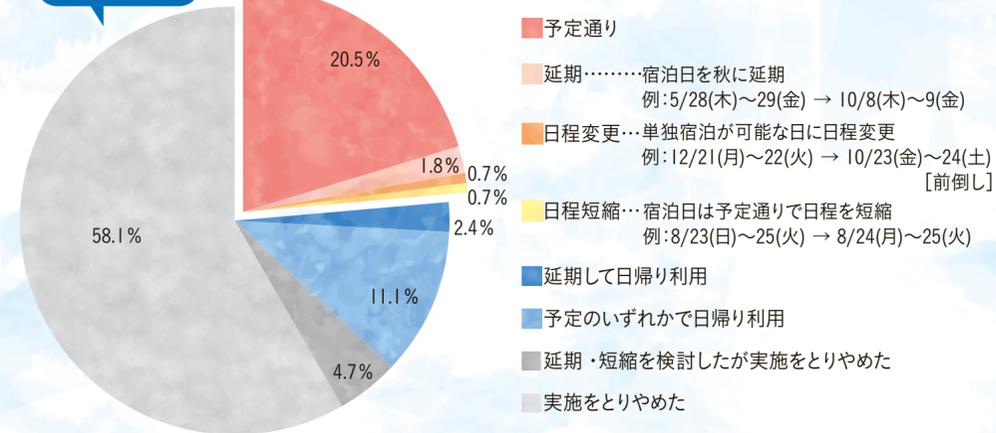


宿泊利用の対応例

宿泊を予定していた449団体について、団体の動きおよび自然の家の対応をまとめると8種類に分類される。
(R2.4月～R3.1月)

宿泊対応例



新規利用の学校 (44団体 55校)

- ① 県内他施設の宿泊利用制限
 - ② 県外移動の自粛
- 例：※ 新見市立の小学校（17校）は通常他県施設を利用
→ すべての学校が宿泊または日帰りで吉備を利用

教育事業について

事業名	予定日	実際
中止		
マイクロネシア国際交流事業	6/18(木)～6/22(月)(4泊5日)	中止 水際対策で出入国の禁止のため
【看板事業】 桃太郎チャレンジキャンプ	8/16(日)～8/22(土)(6泊7日)	中止 長期間の寝食を伴う活動は三密を避けられないため
キビキビ通学合宿	2/23(火・祝)～2/27(土)(4泊5日)	中止 長期間の寝食を伴う活動は三密を避けられないため
延期		
ウーリークラブ ～吉備の里山で子育て～	①6/7(日) ②9/5(土)～9/6(日)(1泊2日) ③11/7(土)～11/8(日)(1泊2日) (ウーリークラブは③のみで合同)	①7/5(日) ②9/5(土)～9/6(日)(1泊2日) ③11/7(土)～11/8(日)(1泊2日) (ウーリークラブは③のみで合同)
自然体験活動指導者養成事業 (NEALリーダー養成)	①5/16(土)～5/17(日)(1泊2日) ②6/13(土)～6/14(日)(1泊2日)	①10/3(土)～10/4(日)(1泊2日) ②10/17(土)～10/18(日)(1泊2日)
体験活動推進員養成講座	7/5(日)(日帰り)	11/29(日)(日帰り)
【養成研修】 吉備ボランティア養成研修	5/16(土)～5/17(日)(1泊2日)	①6/21(日)日帰り ②10/3(土)～10/4(日)(1泊2日)追加



※新規事業	おいでよキビのもり! ～もりでいっしょにあそぼう!～	R2/5/24(日) R2/5/30(土) R2/6/6(土) R2/6/13(土) R2/6/14(日) R2/6/20(土) R2/6/27(土)
	親子でスター☆彗 チャレンジキャンプ	R2/8/11(火)～8/13(木) 2泊3日

※詳しくはP3～P6をご覧ください。

感染拡大防止対策の具体

■団体への依頼事項

- ①入所前
 - ア) 平熱との体温比較 (37.5℃または平熱と1℃以上の差)
 - イ) マスクの持参
 - ウ) 新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)の使用を推奨
- ②利用中
 - ア) 朝と晩の体温確認
 - イ) マスクの着用
 - ウ) 手指消毒や手洗い、うがい
 - エ) 活動場所や宿泊室の換気
 - オ) 発熱等の異常があった場合は、直ちに事務所へ電話連絡
 - カ) 朝のつどい、夕べのつどいの中止
- ③退所後
 - ア) 2週間以内に新型コロナウイルスへの感染が発覚した場合は、当施設まで連絡



▲手指消毒用アルコール
利用団体へ貸し出し(40人につき1つ)

■当施設の対応状況

- ①宿泊室
宿泊定員を半数とし、A・Bグループに分けて寝具の使用間隔3日を確保
- ②レストラン
アクリルスタンドを設置して飛沫防止
定員をおよそ半数の120人とし、座席の間隔を確保



③浴室

団体ごとにロッカーを区別し、接触機会の低減



④トイレや高頻度接触箇所

職員による清拭消毒の実施(毎日)



コロナ禍での体験活動について

～新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大防止対策と体験活動のニーズの高まり～

独立行政法人国立青少年教育振興機構
国立吉備青少年自然の家
〒716-1241 岡山県加賀郡吉備中央町吉川4393-82

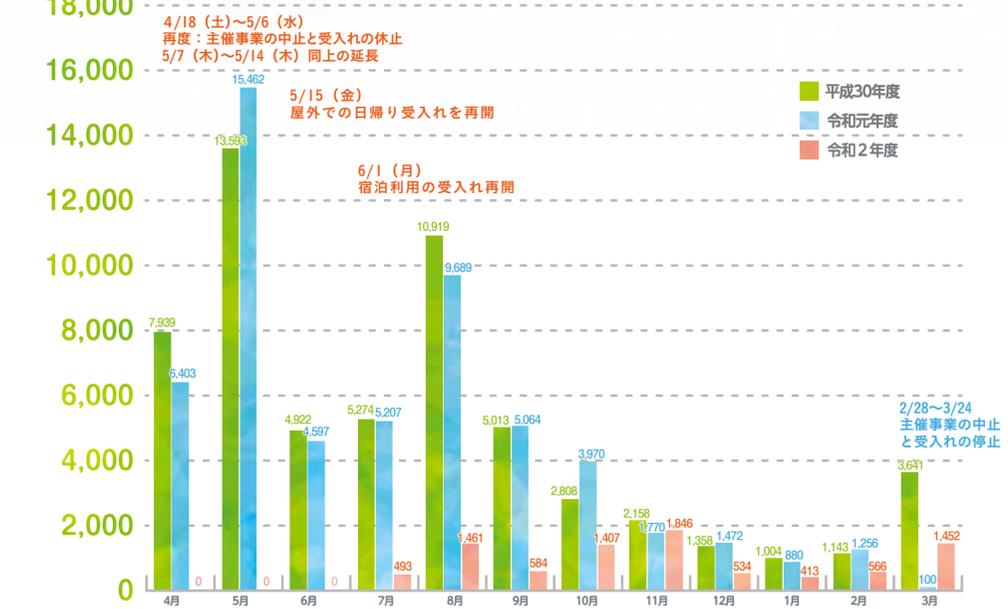
- P1 新型コロナウイルス感染拡大防止対策
- P2 宿泊利用の対応例・教育事業について
- P3 新規事業について
- P7 感染拡大防止対策の具体

新型コロナウイルス感染拡大防止対策 (令和3年1月末現在)

国・岡山県の動き	1/5(日) 国内で初感染者
2/26(水)	文科省から3/15までの主催事業の中止と受入れの停止要請
2/27(木)	安倍首相「一斉休校」要請
3/11(水)	文科省から3/24までの主催事業の中止と受入れの停止延期要請
4/7(火)	緊急事態宣言を発生 [7都府県(東京、神奈川、千葉、埼玉、大阪、兵庫、福岡)]
4/16(木)	緊急事態宣言を全国の都道府県に拡大
4/18(土)	全国感染者1万人突破
5/6(水)	文科省から緊急事態宣言延長の通知
5/14(木)	39県(含む岡山県)において緊急事態宣言を解除
5/25(月)	緊急事態宣言を全国解除
7/22(水)	Go To トラベル 宿泊代割引開始
8/5(水)	岡山県感染者100人突破
8/11(火)	全国感染者5万人突破
9月下旬	Go To Eat 開始
10/30(金)	全国感染者10万人突破
12/14(月)	Go To トラベル 一時停止
12/20(日)	岡山県感染者数1000人突破
R3/1/7(木)	緊急事態宣言を発生[4都県(東京、埼玉、千葉、神奈川)]
R3/1/13(水)	緊急事態宣言拡大 [7府県(大阪、京都、兵庫、愛知、岐阜、福岡、栃木)追加]
R3/1/15(金)	岡山県感染者2000人突破

機構・当施設の動き	2/28(金)～3/15(日) 主催事業の中止と受入れの停止
2/28(金)～3/15(日)	主催事業の中止と受入れの停止
3/16(月)～3/24(火)	同上の延期
3/25(水)	～受入れ再開 ※吉備の森に遊びに来ようキャンペーン
4/17(金)	機構が各施設へ主催事業の中止と受入れの休止指示
4/18(土)～5/6(水)	再度：主催事業の中止と受入れの休止
5/7(木)～5/14(木)	同上の延期
5/15(金)	屋外での日帰り受入れを再開 ※吉備の森に遊びに来ようキャンペーン ～宿泊利用の受入れ再開 ※新型コロナウイルスの影響による施設利用のお願いについて(以下「施設利用のお願い」) [1版]
5/24(日)～6/27(土)	おいでよキビのもり!～もりでいっしょにあそぼう!～ ～宿泊利用の受入れ再開 ※新型コロナウイルスの影響による施設利用のお願いについて(以下「施設利用のお願い」) [2版]
6/1(月)	※施設利用のお願い [2版] (主な変更: 入所条件変更、食事のお願い等)
6/19(金)	※施設利用のお願い [2版] (主な変更: 更衣ロッカー、就寝場所等)
7/4(土)～8/31(月)	※夏だ!山だ!きびの森だ!キャンペーン
8/11(火)～8/13(木)	親子でスター☆彗チャレンジキャンプ
8/13(木)	※施設利用のお願い [3版] (主な変更: 更衣ロッカー、就寝場所等)
9/16(水)	※施設利用のお願い [4版] (主な変更: 日帰り利用、食事のお願い等)
10/12(月)	※施設利用のお願い [5版] (主な変更: 食事の定員等)

宿泊利用者の変化 平成30年度～令和2年度の比較 (R3.2月・3月は予定数)



新規事業について

今年度、コロナ対策事業として **おいでよキジのもり! もりでいっしょにあそぼう!** **親子でスターチャレンジキャンプ!** を新規事業として実施しました。それぞれの対策事業について報告します

1 感染予防

新型コロナウイルス感染予防のために、参加者に来所前の検温、宿泊時には朝夕の検温、マスクの着用、アルコール消毒の徹底を促した。

おいでよキジのもり! もりでいっしょにあそぼう!

01. 事業の目的 (趣旨・ねらい)

新型コロナウイルスの影響で外遊びの機会が減少している子供たちに自然体験の機会を提供する。

02. 事業の概要

期日・対象 (先着順)

①岡山県内の幼児 (未就学の4~6歳児)・小学校低学年とその家族
【4回:各3家族15人程度】
令和2年5月24日(日)、令和2年6月6日(土)、
令和2年6月13日(土)、令和2年6月27日(土)
②岡山県内の小学校中学年とその家族
【3回:各3家族15人程度】
令和2年5月30日(土)、令和2年6月14日(日)、
令和2年6月20日(土)

参加者

①岡山県内の幼児 (未就学の4~6歳児)・小学校低学年とその家族
令和2年5月24日(日)3家族10人、令和2年6月6日(土)4家族13人
令和2年6月13日(土)5家族14人、令和2年6月27日(土)4家族10人
②岡山県内の小学校中学年とその家族
令和2年5月30日(土)4家族16人、令和2年6月14日(日)3家族8人
令和2年6月20日(土)4家族12人

親子でスター チャレンジキャンプ!

01. 事業の目的 (趣旨・ねらい)

今年度、新型コロナウイルスの影響により外で活動する機会が減少しており、自粛傾向も払拭されていない。夏休みに家族で出かける機会の一つとして吉備の森で自然を満喫し、全力で体を動かす活動を行いながら親子のぎずなを深める。また、ベルセウス座流星群の観測を通して自然の素晴らしさを知るきっかけを提供する。

02. 事業の概要

期日・対象 (抽選)

令和2年8月11日(火)~8月13日(木)2泊3日
小学校1・2年生とその家族(5家族20人程度)※岡山県内の方限定

参加者
6家族19人(申込み13家族44人)

2 屋外で活動

三密を避けるために、屋外で活動を実施した。また、雨天時は広いスペースを利用した活動に取り組んだ。

03. 日程



03. 日程



3 家族単位での活動

家族ごとで活動を行うことにより、他家族との接触の機会を減らした。宿泊の際も家族ごとの宿泊とした。

4 参加者への理解

保護者の理解を求めるために、開会式の際に感染拡大防止対策についての注意や目的の確認を行い、安全かつスムーズに活動に取り組めるようにした。

04. 参加者の感想

ゴールデンウィークはあまり外で遊べなかったから、疲れたけど楽しかった。

久しぶりに外で遊べた。家にいるよりも楽しかった。

自然の親しみ方を身に付ける良い事業でした。

子供たちのやる気や学びを引き出してくれる助言がたくさんありました。

※①西日本放送 (RNC): テレビ番組 (5月24日放送)
②テレビせとうち (TSC): テレビ番組 (5月24日放送)
③KIBI ケーブルテレビ: テレビ番組 (5月26日放送)
④山陽新聞 (5月25日掲載)
⑤読売新聞 (5月25日掲載)
事業の取材を受け、テレビ報道や新聞へ掲載された。

04. 参加者の感想

子供主体で、良い経験をさせてもらいました。

自分達ではなかなかできない貴重な経験をさせてもらいました。

すすんで掃除などのお手伝いできており、子供の成長が見られた。

山道のマップを一生懸命見て進もうとしており、子供の成長が見られた。

体験活動とコロナ

体験活動のニーズ

今年度、例年と異なる状況下での対応が求められました。今、本当に必要な体験は何かと考えるとともに、屋外の活動でも感染拡大につながるかもしれないという懸念がありました。

しかし、事業を企画すると、たくさんの方から参加申込みをいただきました。残念ながら三密を避けるために少人数の受け入れしかできませんでしたが、自然の中での体験活動を求めている子供たち、家族がたくさんいることがわかりました。

それらのニーズに応えるために、報告書内で記述したとおり様々な対策を行いながら実施しました。参加者から、「このような事業を企画してくれて嬉しい。」などの声をいただきました。

ポストコロナ

今後の課題として、感染防止対策を行いながら、参加者同士がお互いに交流できるような企画や指導を考えていくことが挙げられます。ポストコロナの体験活動を当施設を利用してくださる皆様とともに模索していきたくて考えています。